

東アジア文化交渉研究

第9号

東アジアの言語と表象

- 関西大学アジア文化研究センター「鱒澤文庫」の珍藏本……内田慶市
 林間苑研究—大坂画壇の奇矯の絵師—……中谷伸生
 18世紀長崎における口頭中国語—「初進館」の内容に基づく『譯家必備』再考—……奥村佳代子
 源豊宗の琳派研究について—宗達と光琳を中心に—……施 燕
 魯迅とバイロンの宗教的詩劇『カイン』……陳 維
 『聖經直解』と『古新聖經』による聖書翻訳の継承関係—4福音書の「マタイによる福音書」を中心に……余 雅 婷
 19世紀末南北京官話介詞比較研究—以《官話指南》《官話類編》注釋為例……齊 燦
 高芙蓉と江戸時代における舶載書法篆刻資料—複製された『古今公私印記』を中心として……李 寧
 遠方的真理：漢字詩学与意象主义里的中国文化……张 萍
 19世紀以来廣告在漢字文化圈諸國的形形成……谢 薇

東アジアの思想と構造

- 『家礼』の和刻本について……吾妻重二
 「大雄宝殿」考……二階堂善弘
 青木正児における中国文学史観に関する考察（一）……辜 承 堯
 幕末明治における女子教育思想の転換について—西村茂樹、福沢諭吉、森有礼の教育理念を中心に—……任 夢 溪
 綜論現当代新儒学思潮、人物及其問題意識与学术贡献——兼談我的开放的儒学观……郭 齐 勇
 ベトナムにおける「二十四孝別集」をめぐる……佐藤トウイウエン
 植民地朝鮮における中村健太郎と朝鮮仏教団の活動とその意義……孫 知 慧
 男爵本多政以の思想と事業—泊園学与禅宗—……横山俊一郎

東アジアの歴史と動態

- 漢代における軍費推算の資料と方法—軍事費の定量的把握のための覚書—……藤田高夫
 1930年代日本郵船会社の「上海航路案内」……松浦 章
 朝鮮文祖胎室の基礎的考察……篠原啓方
 動物図像の識別について—漢画像石における龍の図像を中心に……周 正 律
 享保年間以降における江戸で出版された中国法帖……馬 成 芬
 南明情報の日本伝来とその影響……年 旭
 近代における温州木炭の日本輸出—中国の海關資料を中心に—……吳 征 涛
 朝鮮《备边司誉录》中的山东海商……袁 晓 春
 認識、接納與引進：歐陸法制對晚清政府法律改革的影響（1906-1911）……何 志 輝
 日本初の遣欧使節から見たマカオ……孔 穎
 北京隆福寺的兴建与明前期安南宦官群体……齐 畅
 曲直瀬道三の察証弁治—癡閉・関格を中心に……熊野弘子

研究ノート

- 清末広東省における日本製紙幣の導入……何 娟 娟

東アジア文化交渉研究

第9号

関西大学大学院
東アジア文化研究科

2016年3月

目 次

東アジアの言語と表象

- 関西大学アジア文化研究センター「鱒澤文庫」の珍藏本 …… 内 田 慶 市 …… 3
- 林閩苑研究——大坂画壇の奇矯の絵師—— …… 中 谷 伸 生 …… 17
- 18世紀長崎における口頭中国語
——「初進館」の内容に基づく『譯家必備』再考—— …… 奥 村 佳代子 …… 37
- 源豊宗の琳派研究について——宗達と光琳を中心に—— …… 施 燕 …… 47
- 魯迅とバイロンの宗教的詩劇『カイン』 …… 陳 維 …… 65
- 『聖經直解』と『古新聖經』による聖書翻訳の継承関係
——4福音書の「マタイによる福音書」を中心に …… 余 雅 婷 …… 83
- 19世紀末南北京官話介詞比較研究
——以《官話指南》《官話類編》注釋為例 …… 齊 燦 …… 95
- 高芙蓉と江戸時代における舶載書法篆刻資料
——複篆された『古今公私印記』を中心として …… 李 寧 …… 117
- 远方的真理：汉字诗学与意象主义里的中国文化 …… 张 萍 …… 141
- 19世紀以来广告在汉字文化圈諸国の形成 …… 谢 薇 …… 151

東アジアの思想と構造

- 『家礼』の和刻本について …… 吾 妻 重 二 …… 169
- 「大雄宝殿」考 …… 二階堂 善 弘 …… 197
- 青木正児における中国文学史観に関する考察（一） …… 辜 承 堯 …… 207
- 幕末明治における女子教育思想の転換について
——西村茂樹、福沢諭吉、森有礼の教育理念を中心に—— …… 任 夢 溪 …… 225

綜論現當代新儒學思潮、人物及其問題意識與學術貢獻 ——兼談我的開放的儒學觀	郭 齊 勇	237
ベトナムにおける「二十四孝別集」をめぐって	佐藤トウイウエン	261
植民地朝鮮における中村健太郎と 朝鮮仏教団の活動とその意義	孫 知 慧	283
男爵本多政以の思想と事業——泊園學と禪宗——	横 山 俊一郎	305
東アジアの歴史と動態		
漢代における軍費推算の資料と方法 ——軍事費の定量的把握のための覚書——	藤 田 高 夫	321
1930年代日本郵船会社の「上海航路案内」	松 浦 章	335
朝鮮文祖胎室の基礎的考察	篠 原 啓 方	347
動物図像の識別について ——漢画像石における龍の図像を中心に	周 正 律	357
享保年間以降における江戸で出版された中国法帖	馬 成 芬	383
南明情報の日本伝来とその影響	年 旭	397
近代における温州木炭の日本輸出 ——中国の海関資料を中心に——	呉 征 涛	417
朝鮮《各边司眷录》中的山东海商	袁 晓 春	439
認識、接納與引進： 歐陸法制對晚清政府法律改革的影響（1906-1911）	何 志 輝	453
日本初の遣欧使節から見たマカオ	孔 穎	465

The Transition of Thoughts on Girls' Education of Japan in the Late 19th Century Focusing on NISHIMURA Shigeki, FUZAWA Yukichi, and MORI Arinori's Educational Ideas	REN Mengxi	225
On the Outline and Significance of New-Confucianism in Modern China	GUO qiyong	237
Survey on 「二十四孝原編」 in Vietnam	SATO Thuy Uyen	261
The Activities and Meanings of Nakamura Kentaro and the <i>Chōsen Bukkyōdan</i> in Colonized Korea	SON Jihye	283
Baron Honda Masazane's Thought and Business —Hakuen and Zen school—	YOKOYAMA Shunichiro	305
The Resources and Method to Estimate Military Expenditures in the Han Period	FUJITA Takao	321
The Steamship Route Guide for Shanghai of Nippon Yusen Kaisha in the 1930s	MATSUURA Akira	335
A basic study of Taesil (Placenta chamber) for King Moonjo during the Joseon Dynasty	SHINOHARA Hirokata	347
On the identification of the icon of animals: Take the icon of <i>Long</i> (龍) on the Stone Relief of the Han dynasty for example	ZHOU Zhenglv	357
The Published Rubbings for Chinese Calligraphy at Edo after the Kyoho era	MA Chengfen	383
The Southern Ming Intelligences Spread to Japan and Its Influence on East Asia	NIAN Xu	397
The Export of Wenzhou's Charcoal to Japan in Modern Times —Based on the Chinese Maritime Customs Historical Material—	WU Zhengtao	417

Maritime silk road north Korea historical data of shandong maritime and ships	YUAN Xiaochun	439
Cognized, Accept and Imported: Impact of Civil law System on the Late Qing Government Legal Reform, 1906-1911	HE Zhi Hui	453
Macao on the Way of Japan's First Mission West	KONG Ying	465
The Construction of Long-fu Temple in Beijing and Annan Eunuch in early Ming dynasty	QI Chang	481
MANASE Dosan's Satsusho Benchi: Focusing on Ryuhei and Kankaku	KUMANO Hiroko	489
Guangdong province introduced paper currency made in Japan during Late Qing Dynasty	HE Juanjuan	505

北京隆福寺的兴建与明前期安南宦官群体 齐 畅 481

曲直瀬道三の察証弁治——癡閉・関格を中心に 熊 野 弘 子 489

研究ノート

清末広東省における日本製紙幣の導入 何 娟 娟 505

CONTENTS

Rare books about Masuzawa Bunko Collection of CSAC	UCHIDA Keiichi	1
Study of Rin Ryoen: An eccentric Osaka painter	NAKATANI Nobuo	17
The style of oral Chinese language based on the manuscripts in 18 th century Japan	OKUMURA Kayoko	37
On the study of Rinpa School by Toyomune Minamoto Focusing on Sotatsu and Korin	SHI Yan	47
Lu Xun and Byron's religious drama <i>Cain</i>	CHEN wei	65
Inheritance between <i>Shengjing zhijie</i> , and <i>Guxin Shengjing</i> —mainly of part of the Matthew Gospels	YU Yating	83
A Comparative Study of The Prepositions of The Peking Mandarin and Nanking Mandarin in 19th Century —Taking the annotations in <i>The Guide to Kuan Hua</i> and <i>A Course of Mandarin Lessons</i> as an example	QI Can	95
Gao Furong and ship-borne calligraphy and seals scripts on the Edo period —in order to recover the carving “Instruction to Ancient and Modern Seal” as the center.	LI Ning	117
The Truth from Distance: Chinese Culture in The Poetics of Chinese Written Character and Imagism	ZHANG Ping	141
The Development of Advertisements in Sinoshpere Countries since the 19 th Century	XIE Wei	151
On Japanese version of Zhuxi' s <i>Family Rituals</i>	AZUMA Juji	169
On “Daxiong Baodian (大雄宝殿)”	NIKAIDO Yoshihiro	197
Aoki Masaru's View of Chinese Literary History	GU Chengyao	207

彙 報

2015年4月 東アジア文化研究科 第五年目 開講

担当専任教員

【東アジアの言語と表象】 内田慶市、中谷伸生、奥村佳代子

【東アジアの思想と構造】 吾妻重二、陶徳民、二階堂善弘

【東アジアの歴史と動態】 藤田高夫、松浦章、篠原揮方

院生（2015年度入学生）

博士後期課程生 春学期入学生 5名 秋学期入学生 1名

博士前期課程生 春学期入学生 18名 秋学期入学生 13名

内、韓国嶺南大学校交換研究生 2名

研究生 4名

博士後期課程在籍生 22名

博士前期課程在籍生 59名 在籍者合計 81名

研究生 4名

2015年4月24-25日、5月1日

2015年度春学期 東アジア文化研究科 論文構想発表会が4月24-25日、5月1日の3日間に、以文館4階セミナースペースにおいて開催され、博士後期課程7名（11月末提出予定）、前期課程3名（7月提出予定）が論文構想発表をおこなった。

2015年9月14-15日

イタリアのローマ大学サピエンツァにおいてローマ大学と関西大学の大学院生の合同による“第六屆意日中研究生語言文化交流研究論壇”が開催され、東アジア文化研究科文化交渉学専攻の博士課程後期課程5名、前期課程2名の計7名が研究発表をおこなった。

2015年9月24-25日、10月2日

2015年度の東アジア文化研究科の論文構想発表会が9月24、25日、10月2日の3日間にわたり、以文館4階セミナースペースにおいて開催され、前期課程（2015年1月中旬提出予定）の18名が論文構想発表をおこなった。

2015年10月16日

国立臺灣海洋大学（台湾・基隆）人文社会科学院成立十周年慶祝大会の「東亞青年海洋文化國際論壇」において本研究科の博士後期課程3名、前期課程6名が論文発表をおこなった。

2015年11月27-28日

関西大学において〈2015 日韓伊兩岸次世代フォーラム 東アジアの文化と交渉—新たな開拓に向けて—〉が開催され、本研究科から博士後期課程9名、博士前期課程7名の計16名が、各自の研究成果の一端を発表おこなった。

2015年11月26日（木）

2015年度関西大学大学院“院生合同学術研究大会”が開催され、東アジア文化研究科の博士課程前期5名が研究発表をおこなった。

2015年12月19-20日

中国・浙江省・金華にある浙江師範大学で開催された「第三屆环东海与边疆论坛—东亚海洋共同体构建与边疆治理现代化研讨会」において、本研究科の博士後期課程生が1名と前期課程生5名が研究発表をおこなった。

2016年3月14-15日

北京外国語大学において北京外国語大学と関西大学と韓国嶺南大学校の院生による“中日韓研究生論壇2014”が開催され、東アジア文化研究科文化交渉学専攻の博士後期課程11名、前期課程生20名が研究発表をおこなった。

2016年3月28日

関西大学東西学術研究所主催、国立臺灣海洋大学（台湾・基隆）人文社会科学院海洋文化研究所共催の「第二回東亞青年海洋文化國際論壇」において、本研究科の博士後期課程2名、後期課程3名が論文発表をおこなった。

投稿規程

※2012年改訂版

1. 適用の範囲

この規程は、関西大学東アジア文化研究科紀要『東アジア文化交渉研究』（以下『紀要』）への投稿について適用する。

2. 掲載の範囲

『紀要』には、論考、研究ノート、訳注、書評その他の情報を掲載する。

3. 原稿の募集について

- (1) 原稿の締め切りは毎年11月末日とする。
- (2) 原則として、各号に1論文（刷り上り20ページ程度）とする。
- (3) 同一テーマで、毎号継続して掲載することも可能だが、他の投稿希望者が多い場合は、次号に回すこともありうる。
- (4) 執筆者には抜刷30部を配布する。なお、それ以上については、執筆者の自己負担とする。

4. 投稿者の資格

下記の(1)～(4)とする。(2)(3)については、投稿に際して東アジア文化研究科専任教員の推薦を必要とする。

- (1) 東アジア文化研究科の専任教員、授業担当者
- (2) 東アジア文化研究科の大学院生および卒業生
- (3) 本学専任教員および他の研究機関所属の研究者、大学院生
- (4) 編集委員会から寄稿を依頼された者

5. 投稿原稿

- (1) これまで他の学術誌に掲載されていないもの、投稿時点で他誌に投稿中でないものに限る。口頭発表を経たものは、その旨明記する。
- (2) 原稿料の支払い、掲載料の徴収は行わないが、特殊な印刷や翻訳については別途実費負担を求める場合がある。

6. 掲載論文について

- (1) 東アジアにおける文化交渉研究に学術的に寄与しうるものとする。
- (2) 「4. 投稿者の資格」(2)(3)に該当するものについては、編集委員会が依頼する査読委員を通じて審査のうえ、当編集委員会が最終的に採否を決定する。また採否にかかわらず、原稿（フロッピー、CD-ROM、図版など）は返却しない。

7. 電子化による公開

『紀要』に掲載された論文、資料等は、基本的にすべて、国立情報学研究所によって電子化・公開すること、関西大学学術リポジトリに登録することを許諾したものとする。

執筆要領

※2012年改訂版

1. 基本事項

(1) 内容

東アジアの文化交渉にかかわる論考、研究ノート、資料紹介、書評その他

(2) 使用言語および字数

日本語：20,000字程度

中国語：20,000字程度

英語：約4,000語

その他の言語：事前に連絡すること。

図表がある場合もなるべくこの範囲内に収める。

(3) 要旨、キーワード、タイトル、氏名

①英語による要旨を150語程度で書く。

②要旨のあとにキーワードを日本語および英語で各4～5語つけ加える。

③論文タイトルおよび執筆者氏名の英語表記を明記する。

④掲載許可等の著作権処理は投稿者が行い、申請するときは、国立情報学研究所による電子化・公開についての許諾も得ること。

2. 原稿の体裁

(1) 原稿は、プリントアウトした原本1部と記録媒体（フロッピーディスク他）を同時に提出する。その場合、使用ソフトの種類、バージョン等を明記すること。

(2) 図表・画像は本文中に組み込まず、別ファイルを作成すること。ただし、打ち出し原稿に割り付け位置、図表・画像のキャプションの指示を行うこと。

3. 原稿の書式

(1) 原則としてWord 文書で作成すること。A4横書、1行40字を標準、本文のフォントサイズは10.5ポイントとする。

(2) 読点は「、」ではなく「,」とする。

(3) 注は脚注方式を採用。注番号は全角の「1, 2, 3・・・」の数字を使うこと。脚注のフォントサイズも本文と同様。

(4) 文献に関しては参照文献リストをつけず、各論文の脚注のみとする。

例) 滋賀秀三『中国家族法の原理』（創文社、1967年）、153頁。

松浦章「清国輪船招商局汽船の日本航行」（『関西大学東西学術研究所紀要』第39号）、32頁。

(5) 分節化の符号として、章は一、二、三、節は1, 2, 3を使用。なお、原則として冒頭は「はじめ

めに], 文末は「おわりに」で統一する。

- (6) 年の表記は, 「1911 (明治44) 年」, 「宣統3年 (1911)」のように和暦と西暦を併記する。
- (7) 本文中の算用数字は半角とする。
- (8) 資料の引用は本文に対して二字下げとする。ただし, ファイル上ではスペースを打ち込まず, インデント処理とする。
- (9) 漢字は現代仮名づかいにより, 原則として常用漢字の範囲で書く。ただし, 旧漢字を使用しなければならない場合はこの限りではない。外字に関しては, 文書ファイルで■ (黒い四角) を入力した後, 打ち出し原稿に当該文字を朱書すること。
- (10) 欧米人の名前は文中での初出の際, 「ウィルソン (Thomas Woodrow Wilson) 大統領」のように, 丸括弧の中に欧文原名を示す。

4. 著作権

- (1) 紀要に掲載された論文等の著作権は, 著者及び翻訳者に帰属する。
- (2) 著者及び翻訳者は, 紀要への掲載をもって, 関西大学大学院東アジア文化研究科に対して無償で著作物の複製権 (著作権法第21条) 及び公衆送信権 (同法第23条) を許諾し, かつ, 本研究科が第三者に対してそれらの権利を再許諾することについて同意するものとする。

5. その他

審議を要する事項は, 編集委員長が同委員会に諮り定める。

○原稿締め切り

提出締め切り等, 詳しくは下記の連絡先にお問い合わせください。

原稿は査読を行ったうえで採否を決定します。

○提出先

関西大学大学院東アジア文化研究科

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

Eメール: jeac@ml.kandai.jp

○提出方法

原稿の電子データをEメールに添付, またはCD-ROMで提出してください。

なお, 打ち出し原稿をあわせてお届けください。

執筆者一覧

内 田 慶 市	関西大学図書館長、関西大学大学院東アジア文化研究科担当教員、外国語学部教授
中 谷 伸 生	関西大学東西学術研究所長、関西大学大学院東アジア文化研究科担当教員、文学部教授
奥 村 佳代子	関西大学大学院東アジア文化研究科担当教員、外国語学部教授
施 燕	関西大学大学院東アジア文化研究科博士後期課程
陳 維	関西大学大学院東アジア文化研究科博士後期課程
余 雅 婷	関西大学大学院東アジア文化研究科博士後期課程
齊 燦	関西大学大学院東アジア文化研究科博士後期課程
李 寧	中国・中国書法家協会教育委員会副秘書長
张 萍	中国・浙江外国語学院中国語言文化学院講師
謝 薇	中国・南昌大学新聞與傳播学院講師
吾 妻 重 二	関西大学大学院東アジア文化研究科副研究科長、文学部教授
二階堂 善 弘	関西大学大学院東アジア文化研究科担当教員、文学部教授
辜 承 暎	関西大学大学院東アジア文化研究科博士後期課程
任 夢 溪	関西大学大学院東アジア文化研究科博士後期課程
郭 齊 勇	中国・武漢大学哲学系教授
孫 知 慧	関西大学東西学術研究所非常勤研究員
佐藤トウイウエン	関西大学東西学術研究所非常勤研究員
横 山 俊一郎	関西大学東西学術研究所非常勤研究員
藤 田 高 夫	関西大学文学部長、大学院文学研究科長・東アジア文化研究科長、文学部教授
松 浦 章	関西大学アジア文化研究センター長、関西大学大学院東アジア文化研究科担当教員、文学部教授
篠 原 啓 方	関西大学大学院東アジア文化研究科担当教員、文学部副教授
周 正 律	関西大学大学院東アジア文化研究科博士後期課程
馬 成 芬	関西大学大学院東アジア文化研究科博士後期課程
年 旭	関西大学大学院東アジア文化研究科博士後期課程
吳 征 濤	関西大学大学院東アジア文化研究科博士前期課程
袁 晓 春	山東・蓬萊市登州博物館館長
何 志 輝	澳門・澳門科技大學法學院副教授
孔 穎	中国・浙江工商大学東方語言文化学院副教授
齊 暢	中国・東北師範大学歴史文化学院副教授
熊 野 弘 子	関西大学アジア文化研究センター非常勤研究員
何 娟 娟	関西大学大学院東アジア文化研究科博士前期課程

あとがき

本誌『東アジア文化交渉研究』第9号には、〈東アジアの言語と表象〉の分野に関して、内田慶市図書館長の関西大学アジア文化センターが寄贈を受けた「鱗澤文庫」の稀覯本についての考証、中谷伸生東西学術研究所長の江戸期の大坂画壇で活躍した書家林閻苑についての考察、奥村佳代子教授の江戸期の唐話に関する『譯家必備』についての論考、そして院生としては、施燕の源豊宗の琳派研究について、陳維の魯迅とバイロン詩劇に関して、余雅婷の『聖經直解』と『古新聖經』による聖書翻訳の問題、齊燦の19世末の中国の官話についての比較などが掲載された。投稿としては李寧の高芙蓉と江戸時代における舶載書法篆刻に関する研究の少ない分野の新成果であり、張萍は漢字詩学の表意問題を取扱い、謝薇は19世紀以降の東アジアの漢字文化圏における広告の問題を論じている。

〈東アジア思想と儀礼〉分野では、研究科の吾妻重二副研究科長が『家礼』の和刻本について考察し、二階堂善弘教授は大雄宝殿の考証をし、院生の辜承暎は青木正児の中国文学史観について、任夢溪は、幕末明治の女子教育思想の転換について論じた。投稿では、郭齊勇は新儒学の問題を提起し、佐藤トウイウエンはベトナムにおける「二十四孝別集」について考察し、横山俊一郎は、泊園学と禅宗に関し本多政以を中心に論じている。

〈東アジアの歴史と動態〉では、藤田高夫文学部長が漢代における軍費の問題について考証し、松浦章は1930年代の日本郵船会社の「上海航路案内」について、篠原啓方副教授は韓国の永中面城東里胎峰石造物について考察し、院生の周正律は漢画像石における龍の図像を究明し、馬成芬は江戸享保年間以降に江戸で出版された中国法帖の探求、年旭は明朝崩壊後に存続した南明情報の日本伝来について、呉征濤は中国浙江省の温州木炭の日本輸出の問題を論証している。投稿は袁晓春が朝鮮時代の資料に見る山東海商について、何志輝は清末中国政府の法律改革に与えた西方の影響の問題を、孔穎は日本初の遣欧使節とマカオの関係を、齊暢是北京隆福寺とベトナム宦官について、熊野弘子は江戸期の医師曲直瀬道三の治療問題を考察している。

〈研究ノート〉には院生の何娟娟が清末の広東省で使用された日本製紙幣に関する資料を提示している。

以上のように、本誌も東アジアの言語と表象、思想と儀礼、歴史と動態の各分野に新鮮な成果が届けられたのではないと思われる。

諸賢の忌憚の無い御批正を希う次第である。

(松浦 章 記)

著作権について

- 1) 本書に掲載された論文等の著作権は、著者及び翻訳者に帰属します。
- 2) 著者及び翻訳者は、本書への掲載をもって、関西大学文化交渉学教育研究拠点に対して無償で著作物の複製権（著作権法第21条）及び公衆送信権（同法第23条）を許諾し、かつ、拠点が第三者に対してそれらの権利を再許諾することについて同意しています。

※本書に掲載された論文等を、著者及び翻訳者の所属機関が、学術データベース等にて電子化・公開を希望される場合は、著者及び翻訳者にその許諾の可否をお伺いください。

東アジア文化交渉研究 第 9 号

発行日 2016年3月31日
編集 関西大学 大学院東アジア文化研究科
研究科長 藤田 高夫
発行 © 関西大学 大学院東アジア文化研究科
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号
Eメール jeac@ml.kandai.jp
印刷 株式会社 遊文舎